

第20回 新医協 HPV ワクチン検討会

2022 年6月18日(土)15:00~17:30

HPV ワクチン接種の積極的勧奨が再開され、一定の割合で生まれる接種後副反応疑い患者に対する適切な医療の提供は喫緊の課題です。厚労省は協力医療機関における治療を強化するとし、「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」を公表しましたが、その内容は、HPV ワクチン接種後の症状を機能性身体症状と捉え、認知行動療法を行うというものです。これについては、HPV ワクチン接種後の多様な症状に苦しむ患者から不安の声があがっています。

そこで、まず、患者の主治医から厚労省にHPV ワクチンによる副反応疑いとして報告された症例はどのようなものか、その分析結果について報告を受けます。

一方で、HPV ワクチン接種後に多様な症状を呈する多くの患者の診療を通じて、研究論文が多数集積されてきました。今回それらの文献を網羅し、共通する病態の特徴、他覚的所見、試みられてきた療法等についてまとめられたものを報告していただきます。

さらに、副反応患者が受けている治療の実際、厚労省や医療機関の対応、患者が医師、医療に何を望むかのアンケート結果を報告します。また、直接被害患者からも体験を語っていただきます。

そのうえで、これからの治療の受け皿や支援、積極的勧奨再開で予想される新たな副反応事例への対応について討論を深めます。

① HPV ワクチン接種後に生じた種々の「副反応様症状」はまぼろしか？

～実際に各患者の主治医により確認され、厚労省に症例報告された～

■片平 洵彦（臨床・社会薬学研究所所長）

② HPV ワクチンの副反応症状の特徴、治療の現状と課題

■水口 真寿美（弁護士 HPV ワクチン薬害訴訟弁護団共同代表）

■梅本 美有（HPV ワクチン薬害訴訟原告本人）

■山田 真美子（全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会副代表）

③ 全体討論

オンライン Zoom 開催

参加ご希望の方は、新医協事務局に送信先メールアドレスを送って戴ければ ZOOM 会議参加コードをご案内します。

新医協事務局 ▶ honbu@shinikyo.com